

# 活 動 報 告

## 日本語・日本事情

中 川 正 弘

### 日本語学習と環境

広島大学が広島市から東広島市への移転過渡期にあり、こうした状況下特有の問題を抱えていることはすでに指摘されている。年を追って増加する留学生数と開講される授業数のように数値化できる問題もあれば、また、われわれ現場担当者が学生たちの口から直接聞いたり、教室での接触から感じ取る問題も多い。

カリキュラムについて言えば、留学生数に合わせて授業数を増やすことですめばことは簡単なのだが、この留学生の増加がどのような種類の留学生において起こっているかによって事情は違ってくる。つまり、大学院の学生、これから大学院の入試をうけようとする研究生、学部留学生、特別プログラムによる研修留学生などの大まかな分類で考えただけでも、日本語能力、日本語の必要度、日本語の学習にかけられる時間数はさまざまである。これに、理系、文系、またその中で専門の違いまで考慮するなら、理想として描かれるカリキュラムは不可能な夢としか見えないほど緻密なものになるだろう。

このように多様な留学生に、現実には限られた数の授業を設定することで対応するわけであるから、大まかに能力差によって指定配分することになるクラスには、その中にやはり多様性というバラツキを抱えざるをえない。

こうした条件の下での現実の対応策は、カリキュラム、授業内容の設定におけるものにならざるをえないのだが、これもその内部だけ、つまり教室内世界のことだけを考えるだけではすまない状況に広島大学は置かれている。

統合移転半ばで、キャンパスが広島市と東広島市の二箇所にあることでの問題というのは、具体的には、全学の日本語教育を担当・管理する当留学生センターが西条キャンパス（東広島市）にあり、東千田キャンパス（広島市）では授業を開講していても専任担当教官が常駐しているわけではないので、設備管理上の問題から、教室にテレビ、ビデオなどの教育機材を配備できないとか、また授業時間以外に留学生と接触、連絡が困難であることで、課題の出し方、授業の連携など、授業内容の設定、カリキュラムも制約を受けざるをえないことだ。

一方、市街からかなり離れた静かな環境に建設された西条キャンパスでは、当セ

ンターが手元で直接管理、運営できることはいいのだが、大学近辺に居住する留学生の生活環境が日本語教育に影響を及ぼしもする。例えば、留学生専用の宿舎に居住する学生の中には、授業で接する教師以外に日本人と話す機会がほとんどなく、ほとんど留学生同志で日本語を用いずに生活する者も少なくない。そんな環境の要因も考慮に入れ、授業内容の設定、カリキュラムの組み方で補えるところは補っていかねばならない。

表1 日本語・日本事情授業科目

授 業 科 目	開単 位 設数	学期別週授業時間			備 考
		前期	後記	通年	
◎ 日 本 語 初 級 I	1	2	2		広島大学外国人留学生のための授業である。 日本語初級 I から日本語初級 IV までは前期又は後期で受講。 ただし、◎印の授業は東千田、西条の両地区で開講。 30
◎ 日 本 語 初 級 II	1	2	2		
日 本 語 初 級 III	1	2	2		
日 本 語 初 級 IV	1	2	2		
◎ 日 本 語 中 級 I - 1	2	2	2		
日 本 語 中 級 I - 2	2	2	2		
◎ 日 本 語 中 級 II	2	2	2		
◎ 日 本 語 中 級 III	2	2	2		
日 本 語 中 級 IV	2	2	2		
日 本 語 中 級 V	2	2	2		
日 本 語 中 級 VI	2	2	2		
◎ 日 本 語 上 級 I	2	2	2		
◎ 日 本 語 上 級 II	2	2	2		
◎ 日 本 語 上 級 III	2	2	2		
日 本 語 上 級 IV	2	2	2		
日 本 語 上 級 V	2	2	2		
◎ 日 本 事 情 I	2	2	2		
◎ 日 本 事 情 II	2	2	2		
日 本 事 情 III	2	2	2		
日 本 事 情 IV	2	2	2		
日 本 文 化	2	2	2		
日 本 語 特 講	15		15		

表2 日本語・日本事情授業内容

授業科目	単位数	担当 教 官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 初 級 I	1	深 見	日本語学習経験のほとんどない学 習者を対象に発音・文字・基本文型 を教える。	前	西条キャンパス
				後	
	1	内 藤 (非常勤)		前	東千田 キャンパス
				後	
日 本 語 初 級 II	1	小 野 (非常勤)	日本語学習経験のほとんどない学 習者を対象に問題演習を行う。	前	西条キャンパス
				後	
	1	未 定		前	東千田 キャンパス
				後	
1	渡 部 (非常勤)	前	東千田 キャンパス		
		後			
日 本 語 初 級 III	1	城 田	日本語学習経験のほとんどない学 習者を対象に、読解指導を行う。	前	西条キャンパス
				後	
1	未 定	前		西条キャンパス	
		後			
日 本 語 初 級 IV	1	今 田	日本語学習経験のほとんどない学 習者を対象に、聴解、会話演習を行 う。	前	西条キャンパス
				後	
2	橋 本 (非常勤)	前		西条キャンパス	
		後			
日 本 語 中 級 I - 1	2	小 林 (非常勤)	日本語初級を終わった程度の学習者 を対象に、読解・文法指導を行う。	前	東千田 キャンパス
				後	
2	未 定	前		西条キャンパス	
		後			
日 本 語 中 級 I - 2	2	未 定	日本語初級を終わった程度の学習者 を対象に、読解・文法指導を行う。	前	西条キャンパス
				後	
2	未 定	前		西条キャンパス	
		後			

授業科目	単位数	担教 当官	授 業 内 容	学期	備 考	
日 本 語 中 級 II	2	大 槻 (非常勤)	日本語初級を終わった程度の学習者に、作文・会話の指導を行う。	前	西条キャンパス	
				後		
	2	渡 部 (非常勤)		前	東千田 キャンパス	
				後		
日 本 語 中 級 III	2	中 川	日本語初級を終わった程度の学習者に、小説・随筆などの講読の指導を行う。	前	西条キャンパス	
				後		
	2	古 浦 (非常勤)		前	東千田 キャンパス	
				後		
日 本 語 中 級 IV	2	多和田	日本語中級Ⅰ～Ⅲを終わった程度の学習者に、読解・文法・口頭表現(会話)・文章表現(作文)を教える。	前	西条キャンパス	
				後		
日 本 語 中 級 V	2	中 川		日本語中級Ⅰ～Ⅲを終わった程度の学習者に、漢字の使い方・発音・漢語の体系などを教える。	前	西条キャンパス
					後	
日 本 語 中 級 VI	2	橋 本 (非常勤)	日本語中級Ⅰ～Ⅲを終わった程度の学習者に、小説などの読解指導を行う。		前	西条キャンパス
					後	
日 本 語 上 級 I	2	相 原		読解・スピーチ・聞き取り・上級文法・作文を指導する。	前	東千田 キャンパス
					後	
	2	中 川	読解・スピーチ・聞き取り・上級文法・作文を指導する。		前	西条キャンパス
					後	
2	深 見	読解・スピーチ・聞き取り・上級文法・作文を指導する。		前	西条キャンパス	
				後		

授業科目	単位数	担 当 教 官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 上 級 II	2	奥 田	日本文学を題材として、日本語の語彙・構文・表現・発想の特徴を追求し、あわせて日本文化の構造と特色を検討する。	前	西条キャンパス
				後	
	2	小 林 (非常勤)	読解・スピーチ・聞き取り・上級文法を教える。	前	東千田 キャンパス
				後	
日 本 語 上 級 III	2	深 見 小 野 (非常勤) 多和田	作文・読解を柱にした、課題別総合指導を行う。	前	西条キャンパス
				後	
				前	東千田 キャンパス
後					
日 本 語 上 級 IV	2	大 槻 (非常勤)	読解・スピーチ・聞き取り・上級文法を教える。	前	西条キャンパス
				後	
日 本 語 上 級 V	2	中 川 未 定	漢字の知識のある学習者を対象に読解，作文を中心に日本語の表現現法の指導を行い，日本文化について講義・討論を行う。	前	西条キャンパス
				後	
日本事情 I	2	未 定 水 町	文字・音声・映像を通して日本の社会・文化生活様式の理解をはかり，学習者の自国の事情との比較にもとづく討論を行う。	前	西条キャンパス
				後	
	2	柳 澤 (非常勤)	日本文化及び習慣等について考察する。	前	東千田 キャンパス
後					

授業科目	単位数	担教 当官	授 業 内 容	学期	備 考
日本事情Ⅱ	2	高 永	日本の文化及び習慣等について考察する。	前	西条キャンパス
				後	
	2	深 見		前	東千田 キャンパス
				後	
日本事情Ⅲ	2	深 見	日本人の思考様式を、異文化間コミュニケーション的視点により講義・討論する。	前	西条キャンパス
	2	未 定		後	
日本事情Ⅳ	2	中 村	日本人の発想の特徴や日本文化・社会構造と特色を講義・討論する。	前	西条キャンパス
	2	未 定		後	
日本語特講	15	多和田 中川 深見 渡部 (非常勤) 大槻 (非常勤) 小野 (非常勤) 橋本 (非常勤)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・会話・作文の初歩を集中的に教える。	後	教員研修留 学生のため のプログラ ム
日本文化		多和田 中川 深見	日本語・日本文化研修留学生を対象に、日本文化のさまざまな側面について、より深い知識と理解を得させる。 なお、講義に合わせて随時実地研修も行う。	前	
				後	



## 日本語・日本文化研修プログラム

深見兼孝

広島大学では、昭和60年度より日本語日本文化研修留学生を受け入れているが、昭和62年度より特別経費の交付を受け、「日本語日本文化研修プログラム」を開始し、現在に至っている。平成2年度後期および平成3年度の前期の特別講義・見学プログラムの概要は、次の通りである<sup>1)</sup>。

### 平成2年度

10月26日(金)	見学	映像文化ライブラリー・広島城・縮景園		
10月30日(火)	講義	日本美術の特色	総合科学部教授	金田 晋
11月17日(金)	講義	日本の建築	工学部教授	鈴木 充
11月9日(金)	見学	宮島		
11月14日(水)	講義	日本の昔話	郷土史家	飯田米秋
11月21日(水)	講義	日本と留学生の関わり方	一橋大学講師	横田雅弘
11月28日(水)	講義	日本の行事	東海大学教授	河原崎幹夫
11月30日(金)	講義・実習	書道	学校教育学部教授	森井一幸
12月3日(月)	講義	言語習得と日本語の学習	名古屋学院大学 助教授	ミホ・スタ インバーグ
12月7日(金)	見学	広島市青少年センター		
12月14日(金)	講義	日本建築技術	工学部助教授	松尾 彰
1月11日(金)	講義	日本の民話	中国放送	栗原秀雄
1月16日(水)	講義	歌舞伎	総合科学部講師	青木孝夫
1月25日(金)	講義	日本の近世文学	教育学部教授	浮橋康彦
1月28日(月)	講義	日本語を通して見た文化	東京都立大学教授	中本正智
1月30日(水)	講義	現代の日本女性 問題について	WAD 会長	平田富美子
2月4日(月)	講義	カタカナ語はどうして 難しいか	名古屋大学教授	カッケンブ ッシュ寛子
2月8日(金)	見学	尾道市		
2月14日(木)				
1		似島合宿		
2月16日(土)				

2月18日(月)	講義 日本の方言	広島文化女子短大 講師	高永 茂
2月22日(金)	講義 オノマトペについて	神戸商科大学 助教授	田守育啓
2月24日(日)			
↓	スキー旅行		
2月26日(火)			
3月1日(金)	シンポジウム <sup>2)</sup> 留学生教育の課題と展望	琉球大学教授 東京外国語大学 教授	川平博一 松井信行
		東京外国語大学 教授	道脇綾子
		千葉大学教授	松元泰忠
		東北大学助教授	才田いずみ
		北海道大学教授	村崎恭子
3月4日(月)	講義・見学 西条の史跡	郷土史家	飯田米秋

平成3年度前期

5月10日(金)	見学 筆作り工場
5月24日(金)	見学 そごう物流センター
6月14日(金)	見学 東広島市美術館・歴史民俗資料館
7月5日(金)	見学 キリンビール工場
7月6日(土)	
↓	キャンプ
7月7日(日)	
7月12日(金)	見学 マツダ
9月6日(金)	見学 広島市郷土資料館・NHK
9月19日(木)	修了式

今回は前半に学外から日本語教育に携わっている方々を講師やシンポジウム(教官や日本人学生も参加できるようにした)のパネラーとして招くことができ、日本語、日本語教育(これらについてはこの数年プログラムに組めなかった)、日本の社会等について多彩な話題を提供していただいた。この意味で今回のプログラムは学生にとって有意義であったと思う。しかし、これに反し見学は後半期から参加者

が著しく減り問題を多く残した。研修レポートの作成や帰国（後）の準備がその原因の一つであろうと思われる。回数や交通費，所要時間の問題を含め，見学先の選択を再考した方が良さそうである。

この他，日本語教育や生活の面でもいくつか問題があるようだが，「日本語・日本文化」に限ったことではないので省略する。

注1 以下で広島大学の教官は大学名を省略した。

2 ここに記載した方がたは学外からお呼びしたパネリストである。当センターからは浮田がパネリスト，多和田が司会を勤めた。

# 教員研修留学生コース

峯 正 志

## 研修プログラム

### I. 研修プログラム概要

#### A 教育学

- 1) 教育学, 心理学, 教科教育学に関する英語による講義演習。(一年)
- 2) 授業参観, 特別活動見学をはじめ, その他各種の教育施設, 社会教育の見学。(一年)
- 3) 課題研究—指導教官の下で, 各自の研修テーマを研修。(一年半)

#### B 日本文化, 日本事情 (一年)

- 1) 日本文化, 社会に関する多方面からの英語による講義, 実習
- 2) 文化活動に参加, 各種文化施設の見学。

#### C 日本語教育

- 1) 日本語特講 (初級～中級レベル)。(6カ月)
- 2) 上記以外の日本語・日本事情のクラス。(学生の能力, 必要に応じて)

### II. 研修プログラム内容

#### A 教育学

##### 1) 講義・演習

- |                |                          |
|----------------|--------------------------|
| 1990/11/ 7 (水) | 「日本の幼児教育」教育学部教授 祐宗省三     |
| 11/ 8 (木)      | 「日本の教育制度」教育学部教授 青木薫      |
| 11/15 (木)      | 「日本の初等・中等教育」教育学部助教授 安原義仁 |
| 12/13 (木)      | 「各国の教育事情 I」教育学部助教授 二宮皓   |
| 12/14 (金)      | 「各国の教育事情 II」教育学部助教授 二宮皓  |
| 1991/ 1/10 (木) | 「日本の教員養成」教育学部教授 吉田正晴     |
| 1/29 (火)       | 「日本の高等教育」留学生センター助教授 田畑佳則 |

##### 2) 学校・教育施設見学

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1990/10/19 (金) | 広島市青少年センター    |
| 10/26 (金)      | 広島市映像文化ライブラリー |
| 11/13 (火)      | 広島大学附属幼稚園     |

- 11/22 (木) 広島大学附属小学校・中学校・高等学校  
 12/ 7 (金) 広島市中央公民館・広島市立中央図書館  
 12/11 (火) 広島県教育委員会  
 1991/ 1/25 (金) 広島市教育センター  
 2/ 1 (金) 尾道商業高等学校  
 5/27 (月) 広島市立広島養護学校  
 6/ 6 (木) 呉工業高等専門学校  
 6/20 (木) 広島商船高等専門学校  
 7/ 2 (火) 広島朝鮮中・高級学校

## B 日本文化・日本事情

### 1) 講義・演習

- 1990/11/29 (木) 「日本国憲法」法学部教授 阪本昌成  
 1991/ 1/31 (土) 「茶道」陣崎美知子  
 「華道」陣崎美知子  
 6/26 (水) 「日本の美術」教育学部教授 斎藤稔

### 2) 見学

- 1990/10/19 (金) 平和記念公園・原爆資料館  
 10/26 (金) 広島城・縮景園  
 11/ 9 (金) 宮島  
 1991/ 2/ 1 (金) - 2/ 2 (土) 尾道市  
 5/31 (金) 岩国城・錦帯橋

## C 日本語教育

### 1) 日本語特講 (1990年10月～1991年2月。週平均30時間)

	9:50-10:40	10:50-12:30	13:20-15:00	15:10-16:50
月	中川	渡部	渡部	深見
火	小野 (9:00～)	小野	浮田	中川
水	中川	橋本	大槻	大槻
木	浮田	浮田	深見	長友
金	浮田	中川	浮田・中川・多和田・長友	

日本語講師

浮田三郎

広島大学留学生センター教授

多和田眞一郎	広島大学留学生センター教授
長友和彦	広島大学留学生センター助教授
中川正弘	広島大学留学生センター講師
深見兼孝	広島大学教育学部講師
大槻温子	広島大学教育学部非常勤講師
小野由美子	広島中央女子短期大学講師
橋本敬司	広島大学教育学部非常勤講師
渡部浩見	広島大学教育学部非常勤講師

2) 上記以外の日本語・日本事情のクラス (1991年4月～9月。能力と必要に応じて選択)

D その他

- 1991/ 2/ 7 (木) - 2/ 9 (土) スキー研修 (大山)
- 2/14 (木) - 2/16 (土) 国際交流活動研修会  
(広島市似島臨海少年自然の家)
- 2/25 (月) - 2/27 (水) 研修旅行 (萩市・津和野町)
- 5/18 (土) 西志和農園 (精神薄弱者更生施設) 見学および交流会
- 6/14 (金) - 6/16 (日) 青年国際セミナー  
(国立江田島青年の家)
- 7/ 6 (土) - 7/ 7 (日) 青少年との国際交流  
"BIG JUMBOREE"  
(広島市野外活動センター)

## 外国人留学生日本語研修コース

[修了者]

多和田 眞一郎

第十二期 (1991年4月～91年9月) (26人)

氏名	クラスでの呼び名	国	生年	専攻	専門教育
Carolyn Misa Domen	ミサ	アメリカ合衆国	1969	文学	広島大学
Nejat Abdurranman	ネジャット	トルコ	1956	史学	〃
Wong Mei Ying	メイイン	マレーシア	1958	教育学	〃
Maria Iluminada Lapid	マリア	フィリピン	1962	法学・政治学	〃
Widowati	ウイドワティ	インドネシア	1957	歯学	〃
Charnchai Julmanop	チャンチャイ	タイ	1969	農学	〃
Puttaporn Songsri	プックポー	〃	1971	農学	〃
Vlatko Tomislav Cingoski	ブラトウコ	チェコスロバキア	1962	電気通信工学	〃
Muhammad Iqbal Djawad	イクバル	インドネシア	1967	水産学	〃
Hari Suprpto	ハリ	〃	1958	水産学	〃
Ruengsak Kawtummachai	ハルンサク	タイ	1968	工学	岡山大学
Mansor Bin Omar	マンソール	マレーシア	1958	商学・経済学	〃
Omar Bin Muhamad	オマール	〃	1959	農学	〃
Pua Eng Tiek	プア	〃	1956	土木・建築工学	〃
Rodivick Mnana Olofernes	オロフェルネス	フィリピン	1965	歯学	〃
Philbert De Los Santos Bonilla	ピルバート	〃	1960	農学	〃
Mehmet Ali Yerdel	ヤルデル	トルコ	1961	医学	〃
Velentin Navarro	ナバロ	ペルー	1961	法学・政治学	〃
Francesco Grassi	フランチェスコ	イタリア	1965	文学	〃
Anita Biesiada	アニタ	ポーランド	1956	農学	〃
Francis Mutiso Mathooko	マトーコ	ケニア	1962	農芸化学	〃
Krit Chongsrid	クリット	タイ	1970	電気通信工学	東京工業大学
Adugna Belachew Alemarnu	アドゥニヤ	エチオピア	1960	保健学	山口大学
John Roy Seagren	ジョン	アメリカ合衆国	1961	商学・経済学	〃
Daniel Coronel Gilberto Cantero	ダニエル	パラグワイ	1964	医学	〃
Lukito Hasta Pratopo	ルキト	インドネシア	1959	農業経済学	広島大学

第十三期 (1991年10月～92年3月) (13人)

氏名	クラスでの呼び名	国	生年	専攻	専門教育
Basant Raj Pant	パント	ネパール	1961	医学	広島大学
Nguyen Thah Tung	グエン	ベトナム	1961	工学	〃
Karima Boubekri	カリマ	アルジェリア	1966	生物学	〃
Alejandro Tokuda	アレハンドロ	ドミニカ	1963	医学	島根医科大学
Eakachai Sathianpitayakul	エカチャイ	タイ	1963	医学	岡山大学
Miquel Angel Avendano	ミゲル	ペルー	1960	経営学	〃
Hulda Thora Sveinsdottir	フルダ	アイスランド	1966	政治社会学	〃
Daniela Ferreira Carvalho	ダニエラ	ポルトガル	1956	社会心理学	〃
Mohd Ilham Bin Adenan	イルハム	マレーシア	1963	免疫学	〃
Tharpa Tashi	タシ	ブータン	1962	経済学	山口大学
Philip Takesi Tubaki	フィリップ	アメリカ合衆国	1968	電気工学	徳島大学
M'hammed Larhrafi	マハマド	モロッコ	1956	工学	香川大学
Ana Luiza Ramos De Oliveira	アナルイザ	ブラジル	1968	生物学	愛媛大学

日本語研修コース関係講師一覧

第十二期 (1991年4月～91年9月)

専任	多和田眞一郎	中川正弘	深見兼孝	
非常勤	今石正人	天満伸子	西村浩子	橋本敬司
	水野由美	石田三樹	位藤邦生	岩本義史
	梯 正之	北村光孝	進藤春雄	難波憲二
	藤田耕之輔	福田康彦		

第十三期 (1991年10月～92年3月)

専任	多和田眞一郎	中川正弘	深見兼孝	
非常勤	浅井かつ子	天満伸子	西村浩子	橋本敬司
	水野由美	石田三樹	江頭大蔵	太田欽幸
	栗栖 薫	進藤春雄	隅井浩治	藤田耕之輔

日本語研修コース (第十一期) 1990年度 (十月～三月) 成果報告

日本語研修コース (第十二期) 1991年度 (四月～九月) 成果報告



	期 日	行 事 ・ 試 験 等	特 別 研 究 指 導 等	備 考
0	10/16	開 講 式 オリエンテーション		
1	10/17~10/19		10/19 原爆資料館・平和公園・青少年センター	
2	10/22~10/26		10/26 映像文化ライブラリー・ 広島城・縮景園	
3	10/29~11/2			11/3 公休日
4	11/5~11/9		11/9 宮島	11/5 創立記念日
5	11/12~11/16			
6	11/19~11/23			11/23 公休日
7	11/26~11/30	11/27 中間試験	11/30 錦帯橋・岩国城	
8	12/3~12/7			
9	12/10~12/14			「専門用語解説」開始
10	12/17~12/21	12/21 期末試験		
	12/24~1/5	冬季休業		
11	1/8~1/11			
12	1/14~1/18		1/18 安佐動物公園	1/15 公休日
13	1/21~1/25	1/25, 26 加計町ホームステイ		
14	1/28~2/1			
15	2/4~2/8	2/6 中間試験	2/8, 9 尾道市	
16	2/11~2/15	2/14, 15, 16 合宿		2/11 公休日
17	2/18~2/22		2/22 現代美術館・郷土資料館・ NHK 広島放送局	
18	2/25~3/1	特別講義 2/26 期末試験		
19	3/4	特別講義		
00	3/5	成果発表, 修了式		

	期 日	行 事 ・ 試 験 等	特 別 研 究 指 導 等	備 考
0	4/17	開 講 式 オリエンテーション		
1	4/17~4/19			
2	4/22~4/26		4/26 原爆資料館・ 平和公園・青少年センター	
3	4/29~5/3		5/2 映像文化ライブラリー・ 広島城・縮景園	4/29, 5/3, 4 公休日
4	5/6~5/10			5/6 公休日
5	5/13~5/17		5/17 宮島	
6	5/20~5/24	中間試験		
7	5/27~5/31		5/31 錦帯橋・岩国城	
8	6/3~6/7			「専門用語解説」開始
9	6/10~6/14		6/14 安佐動物公園	
10	6/17~6/21			
11	6/24~6/28	前半期末試験		
12	7/1~7/5	7/6, 7 合宿		
13	7/8~7/12		7/12 マツダ	
14	7/15~7/19		9/6 尾道市	
15	7/22~7/24	中間試験		
	7/25~8/31	夏季休業		
16	9/2~9/6		9/6 郷土資料館 現代美術館	
17	9/9~9/13	期末試験		
18	9/16~9/17			9/16 公休日
00	9/18	成果発表, 修了式		9/19, 20 修了記念旅 行 (大久野島)